

主 題

読 谷 高 校 制 服 ス ト ー リ ー

～ 素朴さに愛着 ～



制服ストーリー



素朴さに愛着

1948年、コザ高校喜
名分校としてスタートし
た読谷高校。制服が現在
のデザインになった正確

な年は記録が残っていな
いため不明だが、生徒の
親の世代も着ており、地
域で長く愛されている。

「よく中学生に間違えら
れる」と苦笑いする生徒
たち。同校の制服は、男女
ともに地元古堅中学校の
制服デザインとほぼ同じ
だ。唯一違つのは、高校は
女子の上着の襟元の白い
ラインが1本から2本に
増え、男子のシャツには
校章が入っている点だ。

津嘉山成美さん(17)は
「高校生っぽい制服を着た
いと思う時もあるけど、
ナチュラルで素朴な感じ
が好き」と話し、伊波雄真
君(17)も「買い替えない
で良いので、経済的には
楽」と笑った。